

嵩上げ道路（東部復興道路）

嵩上げ道路（東部復興道路整備事業）

基本情報

仙台東部道路が盛土構造となっていたことで、津波を食い止める役割を果たしたことから、仙台市震災復興計画に基づき、津波に対する多重防御の要として整備したもの。



上空から見た荒浜地区とかさ上げ道路



津波避難タワー（宮城野区中野五丁目）



海岸堤防（深沼海岸）



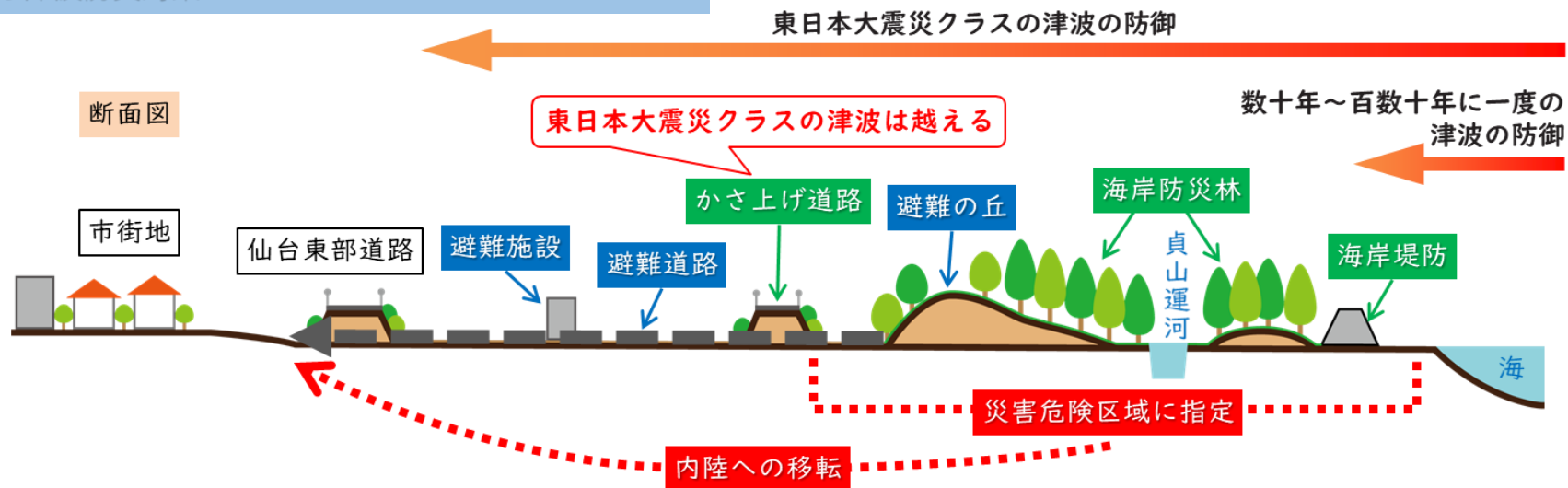
海岸防災林
（宮城野区岡田）

整備概要図



嵩上げ道路（東部復興道路整備事業）

総合的な津波防災対策



多重防御

- ・ 百数十年に一度の津波は、**海岸堤防**で防ぐ
- ・ **海岸防災林**が津波の威力を弱め、**かさ上げ道路**が2本目の堤防として機能することで、東日本大震災クラスの津波からの被害を抑える

避難

- ・ 東日本大震災クラスの津波は、かさ上げ道路を越流する⇒避難するための施設等を整備
- ・ 海岸堤防とかさ上げ道路の間に**避難の丘**を、かさ上げ道路と東部道路の間に**避難施設**や**避難道路**を整備

移転

- ・ 対策を講じてもなお、津波被害の危険性が高い地域は、**災害危険区域に指定**し、建物の建築を制限
- ・ 当該地区にお住まいだった方には、防災集団移転促進事業により安全な**内陸へ移転**していただいた